

第6号
令和4年1月31日発行

自主学習通信



～引き出せ！子どもの力！！～

大阪市教育委員会事務局
第2教育ブロックグループ

実践校紹介④

一人一台端末と学びの連携について

～大阪市立鯫江東小学校～

事務局： 鯫江東小学校での、自主学習導入の経緯について教えてください。

西岡校長： 第2教育ブロック全体の取組として実施される前から、一部の学年で取り組んでいましたので、校内に自主学習を推進する素地はあったと思います。例えば、子どもたちが自主学習のイメージを持ちやすいように、導入にあたって既に自主学習に取り組んでいる児童のノートをコピーし、好事例として廊下に掲示するなど工夫することもありました。現在は、主に3年生以上の学年で自主学習に取り組んでいます。

事務局： 自主学習を進めるにあたって大切にしていることや教職員と共通理解していることはありますか。

西岡校長： 取組に関する指示はあまりせず、先生方の自主性に任せることにしています。私は、自主学習習慣の確立は「学びに向かう姿勢」を育成するためにも、大切なことだと思っています。自主学習のきっかけになるような「ツール」や「学習機会」を子どもたちに提示し選択させることは、「学びに向かう姿勢」を児童自ら育むためにも、「個別最適な学び」の実現にとっても大切な要素だと考えています。

事務局： 「ツール」や「学習機会」を提供するということですが、具体的にはどのようにされていますか。

西岡校長： 自主学習ノートなども用いていますが、特に、一人一台端末の活用に力を入れています。今年度9月に本校において臨時休校措置が続いたことをきっかけに、一人一台端末の活用が一気に進み、現在は授業中も一人一台端末を活用する場面が多くなりました。子どもたちも扱いに習熟しており、休み時間に以前はノートを活用して授業の続きを学習する児童の姿が見られましたが、今では、端末を活用している場面が多くみられます。授業では、児童が端末を使ってタイピングの練習をしたり、PowerPointでスライドを作成したり、スクラッチを使ってプログラミングの学習をしたりしています。例えば、ある学年では総合的な学習の時間にゲーム作りをすることになったのですが、これは、ある児童が学校で学んだスクラッチの技法を用いて、家庭での自主学習で簡単なゲームを作ったことがきっかけでした。学校での学びと家庭での学びの良い循環が、端末の活用をきっかけに起こっているなど感じています。



西岡 克敏 校長

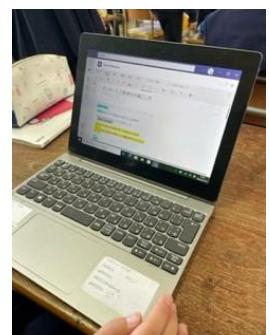


教室に掲示されている自主学習ノート



授業中、児童が一人一台端末を用いてアンケートを作成しています。

3年教室内にPowerPointの作成方法が掲示されています。



事務局：なるほど。自主学習と学校での学びがうまくリンクしているんですね。次に、デジタルドリルの活用についてお聞かせください。今年度夏に、全校にnavimaが導入されましたが、鯰江東小学校ではどのように活用されていますか。

西岡校長：デジタルドリルは、一人一台端末との相性が良いだろうとの見通しがあったので、今年度、navimaの導入に先駆けて、ロック化による学校支援事業の予算を活用し、6月ごろから「ジャストスマイルドリル」というデジタルドリルを導入しました。navimaと併用することにより、同じ学習課題に対して、難易度が違う問題を児童が自分で選択して取り組めるようになりました。

また、ノートを活用するよりも、一人一台端末を使う方が学習に取り組みやすいと感じている児童がいますので、自主学習でもノートの使用にこだわらず、一人一台端末を活用した自主学習も進めていきたいと考えています。



ジャストスマイルドリル

事務局：保護者の方からはどのような声が届いていますか。

西岡校長：デジタルドリルの活用方法に関する問合せをいただくことがあるので、保護者の方々も、端末の活用には一定の関心を持っていただいていると感じています。

事務局：児童が自主学習を続ける意欲を喚起するような取組をされていますか。

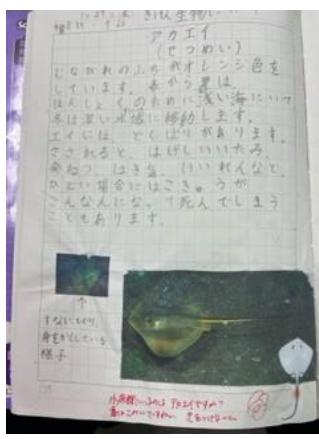
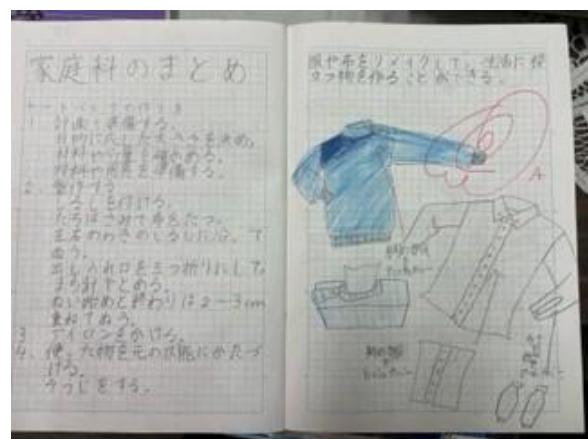
西岡校長：学級や学年によっては、自主学習ノートを使った取組の充実に向けて、ノートを掲示して表彰したり、熱心に取り組んでいる児童のノートを掲示したりするなどして意欲を喚起しています。私も、全校児童に対し、学期に1回「校長先生の挑戦状」と称して、全学年に漢字の問題を出しています、採点は私が行い、やり直し等は児童の自主性に任せています。



校長室前に設置された
「なまし入れ」

事務局：今後、自主学習を推進していくにあたっての課題等があれば教えてください。

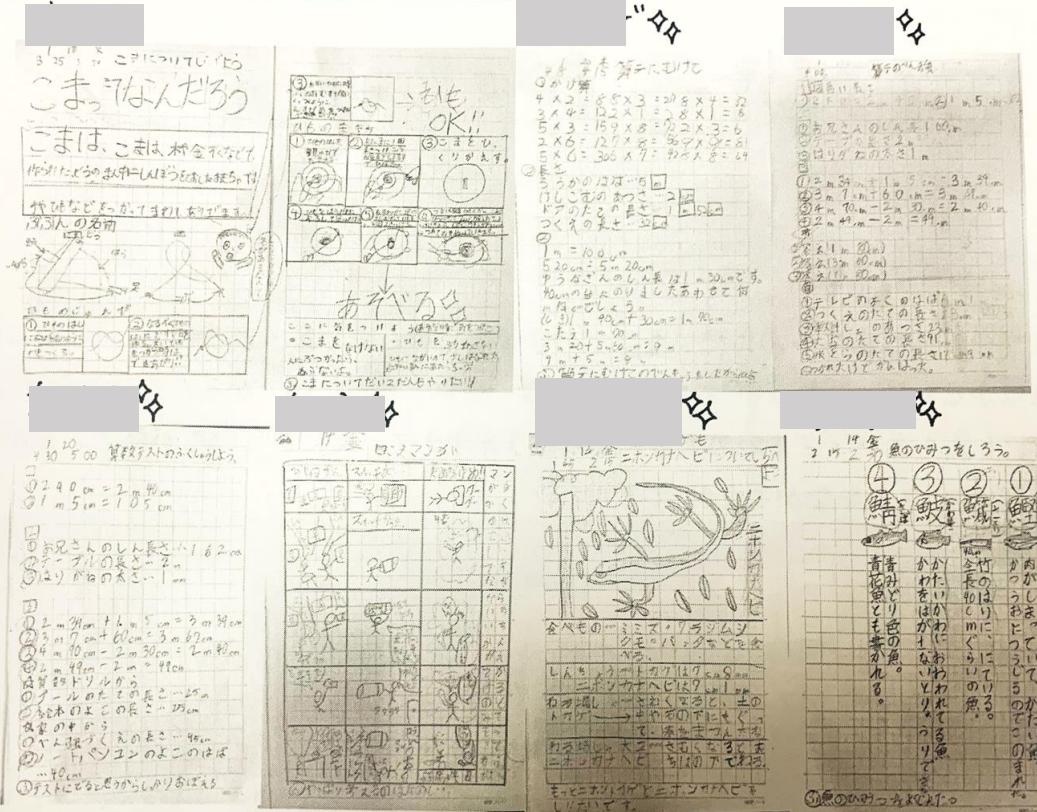
西岡校長：自主学習の成果を定量的に測ることが、すごく難しいなと感じています。学びの成果は人それぞれですし、成果がなかなか表れず、数年、十数年かかる児童もいるでしょう。一方で、喫緊の課題として学力の向上が求められている状況で、自主学習とのバランスをどうとるかが難しいなと感じています。



児童の自主学習ノートをご紹介します。好きなアニメの切抜きを貼ったり、写真を添付したり、みんな工夫しているでござるよ。

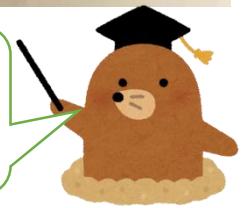


今週の自学のしようかい2☆



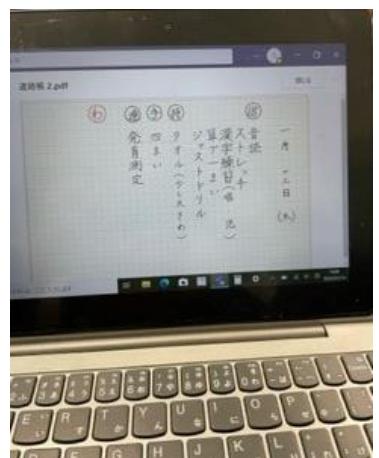
ばっちりメニュー やわくわくメニュー のやり方が、みんなちがっていいね♪
自学ノートの丸つけをする時は、いつもワクワクします。さい近は、かん字をていねいに書く人がふえていて、かん字の丸つけも楽しいです♪みんな ありがとう♡

好事例を紹介しています。先生のコメントで、児童のやる気があります UP !!



編集後記

- 鯰江東小学校では、連絡帳も一人一台端末を活用するなど、ICT端末の積極的に活用されていました。
- 授業中、端末に不具合が起きた時には、先生方に授業を優先してもらうため、校長先生が端末の対応されていらっしゃるとのことと、実際、「現在対応中」の端末が数台、校長室に置かれています。また、端末の不具合に関する保護者からの問合せにも、校長先生が直接お答えになられているそうです。
- 子どもたちの学びを支える校長先生の奮闘ぶりに頭が下がる思いでした。
- 鳴野小学校から、取材後の取組状況について、紹介いただきました。低学年での取組のため、先生方が一つずつ丁寧に説明されている様子が窺えました。



一人一台端末を活用した連絡帳